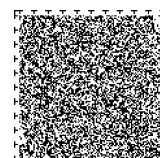
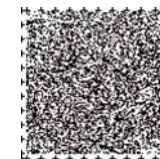
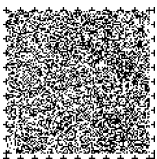


平成22年度(2010)

横浜市情報化の基本方針

行動計画:平成22年度(2010)～25年度(2013)





はじめに

今日、情報通信技術（ICT*）の発展は止まることがなく、家庭でもインターネットを利用したショッピング、施設予約、情報収集と幅広くに利用されており、今や ICT* の利活用は、市民生活において不可欠なものとなっています。

こうした中で、長引く景気の低迷、少子高齢化の進展、地球温暖化など、現代社会は多くの課題を抱えており、その解決策の有効な手段として ICT* の利活用が期待されています。

横浜市では、これまで ICT* を活用することによって、市民サービスの向上と行政運営の簡素効率化を実現するために、平成15年3月、平成18年12月に「横浜市電子市役所推進計画」を策定し、着実に推進してきました。

この度、横浜市では、これまでの「横浜市電子市役所推進計画」を継承・発展するとともに範囲を拡大して、本市の進むべき情報化の基本方針を示した、「横浜市情報化の基本方針」を策定しました。

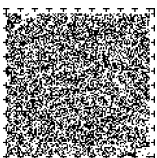
この基本方針は、本市の情報化の共通目標を示したという意味では初めてのものです。基本方針を示すことによって、市が一体となって、より満足度の高い市民サービス、活力ある都市横浜を実現するとともに、行政内部においても効率的で信頼性の高い業務環境を創出しようとするものです。

今後は、この基本方針を着実に推進してまいりますので、市民の皆様を始め関係者の皆様には、この趣旨をご理解いただき、より一層のご協力をお願い申し上げます。

平成23年2月

横浜市 CIO(最高情報統括責任者)
副市長

大場 茂美



CONTENTS

はじめに 1

第1部 情報化ビジョン 6

第1章 情報化の現状と動向 7

1 横浜市の情報化の現状 7

(1)横浜市全体の状況 7

(2)横浜市役所の ICT* 関連状況 8

(3)まとめに 14

2 国の情報化についての動向 15

(1)全体的な方向性 15

(2)行政の情報化 16

(3)電子自治体 17

(4)その他 17

3 市民ニーズの動向 18

(1)身近な暮らしの安全と安心 18

(2)地域活動への参加 20

(3)効率的な行政運営 21

(4)地域経済の活性化 21

(5)脱温暖化の取組 22

第2章 課題と解決の方向性 23

1 横浜市の現状や国の動向、市民ニーズからの課題 23

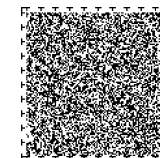
(1)横浜市の現状からの課題 23

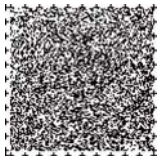
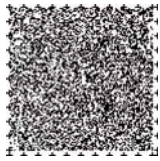
(2)横浜市の情報化の現状からの課題 24

(3)電子市役所推進計画検証レポートで挙げられた課題 24

(4)国の情報化についての動向からの課題 24

(5)市民ニーズの動向からの課題 23





CONTENTS

- 2 今後横浜市が情報化に関して認識すべき課題 25
 - (1)全体の課題 25
 - (2)内部的取組の課題 27
- 3 課題解決の方向性 29
 - (1)長期的・短期的な ICT* の取組の方向性を明確にすること 29
 - (2)ICT* に関して安全・安心を実現し、セキュリティの確保を重点的に行うこと .. 29
 - (3)内部の ICT* の取組とそれを支える力を強め、信頼される組織を作ること 29
 - (4)市民生活に関わる ICT* 施策を適切に進め、地域情報化に積極的に取り組むこと 30
 - (5)ICT* 関連の環境負荷低減策に積極的に取り組むこと 30
 - (6)新技術や新たな施策へ積極的に取り組むこと 30

第3章 横浜市情報化の基本方針の策定にあたって 31

- 1 横浜市情報化の基本方針の基本事項 31
 - (1)策定の趣旨 31
 - (2)位置づけ 31
 - (3)対象期間と横浜市中期4か年計画との関係 31
 - (4)対象範囲 32
- 2 推進にあたって 33

第4章 横浜市情報化の基本方針 34

- 1 横浜市情報化の基本方針の全体像 34
- 2 情報化ビジョン 35
- 3 情報化ビジョンを支える4つの柱 36
- 4 4つの柱の目標とする状態と個別目標 37
 - (1)安全で安心できる豊かな市民生活 37
 - (2)コスト縮減と信頼され効率的な行政運営 39
 - (3)活力ある都市横浜 41
 - (4)地球にやさしい環境 43

第2部 行動計画 (59の実行施策と35の必要施策) 46

第1章 行動計画とは 47

- 1 行動計画について 47
- 2 行動計画に記載する具体的施策の分類 48
 - (1)今後4年間で実際に取り組む施策 48
 - (2)現時点で具体化されていないが、今後取組が必要と考えられる施策 48
- 3 事業の状態 48
 - (1)「システム開発を主体とした取組」の表現 48
 - (2)「その他の取組」の表現 49
 - (3)前年度の実施結果によって当該年度の状態が決定する場合の表現 49
 - (4)当該年度にその具体的取組において何も行われていない場合の表現 49

第2章 具体的施策(一覧) 50

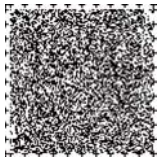
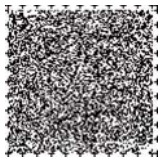
- 1 安全で安心できる豊かな市民生活 50
- 2 コスト縮減と信頼され効率的な行政運営 51
- 3 活力ある都市横浜 52
- 4 地球にやさしい環境 53

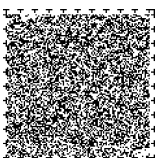
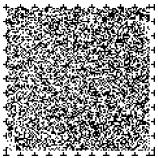
第3章 具体的施策(詳細) 54

- 1 安全で安心できる豊かな市民生活 54
- 2 コスト縮減と信頼され効率的な行政運営 64
- 3 活力ある都市横浜 75
- 4 地球にやさしい環境 78

計画策定における市民意見について 81

用語解説 84





会社名、製品名等について

記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。本文では、TM、(R)マークは明記しておりません。

用語解説について

文中 * のついている用語は、巻末に用語解説を掲載しています。

組織名称について

横浜市では、22年第4回市会定例会において「横浜市事務分掌条例の一部改正」が議決されたことに伴い、23年度から一部組織名称が変更されます。このため、計画本文には、局再編成実施後の新たな組織名称で事業の所管部署を表記しています。

SPコードについて

「横浜市情報化の基本方針」では、「第1部」及び「計画策定における市民意見について」「用語解説」に視覚障害者用活字文書読上げ装置で読み取ることのできる二次元シンボル（SPコード）を紙面の4角に配置しています。この二次元シンボル（SPコード）は、専用の読み取り装置（スピーチオ等）で読み取ることのできるもので、記録されている情報を音声で聞くことができるものです。

SPコードは、ページ上部からページ下部の順番で文章が入れられており、ページ上部のコードのみでそのページの文章がおさまる場合には、下部のコードは文章がない旨が記載されているのみで、本文の文章は記載されていません。

また、表紙から第1部（1ページから44ページ。表紙から23枚目表まで）と、計画策定における市民意見について及び用語解説（81ページから89ページ。41枚目裏から45枚目裏まで）にSPコードが記載されていますが、第2部（46ページから79ページ。24枚目表から40枚目裏まで）にはSPコード自体が記載されていません。

ただし、SPコードの位置を示すページの切りかきについては、全ページに入っているため、ご利用にあたっては、その点ご了承ください。